▼オンライン川下りができたら楽しそう

オンライン〇〇はいかがですか

コロナの影響で、私たちが経験したことのない事態が広がり、生活様式は大きく様変わりしようとしています。今回のような不便な環境下で発明は生まれるもので、話題のオンライン飲み会は、「リアルな飲み会よりも気楽で楽しい！」と広まり、さまざまなオンライン〇〇が誕生しています。

私も考えてみました。世界中のお客さんが同時にネット上のどんこ舟に乗船して柳川観光を楽しむ「オンライン川下り」や、ぶどう園のスタッフをオンラインで操作する「オンラインぶどう狩り」など。摘んだブドウは宅配便で届いたら楽しいと思います。

現代の先端技術は、低コストで気軽に挑戦でき、新たな客層へのPR効果も期待できると思います。私が力を入れている海苔（のり）の分野も、海苔の種の培養から動画を撮影しながら付加価値を提供できるサービスを模索しています。ピンチの中でも新たに生まれるチャンスに挑戦していきたいと思いながら活動しています。

福永 純一（49歳）

【プロフィル】市観光課に所属。「福岡有明のり」PRおよび新たな商品開発を担当